

## 2020 年度 高等教育研究コンソーシアム信州 学生活動支援事業活動報告書

団体等名	りんご部隊	
代表学生	所属大学名・学部・学年	信州大学 工学部機械システム工学科 2年
	ふりがな 氏名	さいとうゆういち 齋藤裕一
教職員責任者	所属大学名・職名・ ふりがな 氏名	信州大学 教員 いしだしおり 石田史織

活動名	りんご農家のお手伝い
実施時期	安曇野市内のりんご農家
実施場所	8月中旬から11月中旬まで
活動内容	<p>今年度の活動は、コロナウイルスの影響により例年より大幅に減ってしまった。活動期間は7月から11月下旬を予定していたが、実際には8月中旬との1週間と9月中旬から11月中旬までだった。毎年5月に摘花の作業から始まるが、今年は摘花の作業が無く、藁敷きや葉摘みから始まった。また参加人数も大幅に減ってしまったが、9月から1年生の参加を始めたところ、多くの1年生に参加して頂くことができた。今年度の作業では例年と同じ作業に加え、いつもはなかなかできない収穫作業を体験させて頂くことができた。他にも埼玉県の温泉カフェのおふろcafé-utataneさんとのコラボでりんご風呂のイベントを開催し、現地に行くことはできなかったが、りんご部隊や安曇野のりんごや農家さんについて紹介して頂くことができた。また今年は京都遠征を開催することができず、県内でりんごを売ることも危険と考えたため、代わりに1年生に対してりんご部隊や松本を知ってもらうという目的で、感染症対策を考慮しながら、11月下旬に3日間にわたって松本ぶらり旅というイベントを開催した。松本ぶらり旅では、参加者を3日間に分け、日ごとに4グループに分けて、りんごや松本に関するクイズなどを解きながら松本を歩いて観光してもらった。</p>
活動の成果と今後の課題	<p>活動内容でも書いたように、今年は例年と比べて大幅に活動と参加人数が減った。活動が始まる前の想定よりもかなりコロナウイルスの影響が大きかった。しかし、作業自体は参加したメンバー全員が農家さんの要求にしっかりと答えることができ、地域貢献することができたと思う。また、今年は初めてりんご部隊が企業とのコラボをさせて頂くことができた。今まではりんご部隊や長野県のりんごについての他県への発信は京都遠征によって行っていたが、新しく埼玉県にりんご部隊や長野県のりんごや農家さんについて情報を発信することができた。京都遠征を開催することが出来なかったが、代案として松本ぶらり旅を開催することにより、多くの1年生にりんご部隊や長野県について知ってもらうことができた。</p> <p>今後の課題として、来期もコロナウイルスにより例年通りに活動することができないと思われるので、感染症対策をしっかりととりながら農家さんの要求に答えるために参加人数減少の対策を考える必要がある。また、今年の夏休みの作業で非常に気温が上がり無風の日があり、熱中症の危険があったため、急遽熱中症対策を取ったが、来期以降はあらかじめ熱中症対策を万全にして作業に臨みたいと思う。他にも今年は農家さんとの交流が出来なかったため、感染症対策を考慮しつつ農家さんとの交流の場を作っていきたい。京都遠征について、来期も京都遠征を開催することは厳しいと思われるが、今のうちからできないと決めつけずに、開催できることを考えて準備を進めていきたいと思う。</p>